

# イントロダクション

003 編集方針

004 更新履歴

005 事業内容と展開地域



# 編集方針

本レポート「ダイキングループ サステナビリティレポート 2025」は、ダイキンの持続可能（サステナブル）な成長に向けた基本的な考えと年次の活動実績、今後の計画を報告するものです。統合報告書を補完するレポートとして、ESG情報をより詳細かつ網羅的に開示しています。

本レポートではダイキンのサステナビリティにかかわる活動を環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）の枠組みで報告し、関連する定量的データを「資料編」にまとめています。

なお、文中の「ダイキン」はダイキングループ全体を、「ダイキン工業」はダイキン工業株式会社を指します。

過去3年分のバックナンバーを当社WEBサイトで公開しています。

📄 サステナビリティレポート

<https://www.daikin.co.jp/csr/report>

📄 統合報告書

<https://www.daikin.co.jp/investor/library/annual>

## 報告対象期間

2024年度（2024年4月～2025年3月）

一部に2025年4月以降の活動内容などを含む

## 報告対象組織

原則として、ダイキン工業および連結子会社350社（計351社）を報告対象としています。

**環境**：ダイキン工業および連結子会社72社

（生産拠点の95%以上をカバーしています）

**社会・ガバナンス**：個々に記載しています

## 第三者検証

ダイキンは、報告内容に対する信頼性の確保のために、温室効果ガス排出量と水使用量、排水量について、ビューローベリタスジャパン株式会社による第三者検証を受けています。

📖 174 資料編 第三者検証

## 財務情報と非財務情報の開示

ダイキンは、ステークホルダーの皆様のニーズに合わせて情報開示を行っています。

### ダイキンの情報開示メディア



## 参考にした基準およびガイドライン

- Global Reporting Initiative (GRI) 「GRIスタンダード」
- 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)
- ISO26000「社会的責任に関する手引」
- 環境省「環境報告ガイドライン」

## 注意事項

2024年度の活動を報告するにあたり、データを精査、これを修正した結果、過年度のレポートと実績数値が異なる項目があります。また、端数処理のため合計値と内訳が合わない項目があります。

## 将来に関する予測・予想・計画について

本レポートには、ダイキンの将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらは、記述した時点で入手できた情報にもとづいた仮定ないし判断であり、不確実性を含んでいます。

従って、将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本レポートに記載した予測・予想・計画とは異なる可能性があります。

# 更新履歴

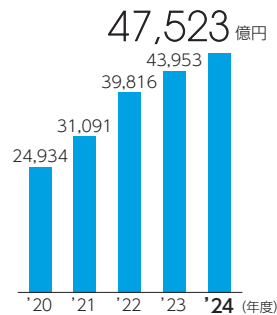
2025年8月 サステナビリティレポート2025を発行

# 事業内容と展開地域

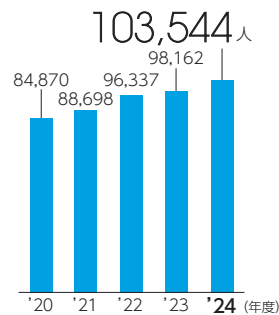
## 健康で快適な生活をグローバルに提供

ダイキンは、海外売上高比率が8割を超えるグローバルメーカーで、グループ全従業員の8割以上が海外で働いています。「空調」と「フッ素化学」の技術を両輪に、国や地域ごとに異なる文化・価値観から生まれるニーズに応え、人と空間を健康で快適にする製品・サービスを提供しています。

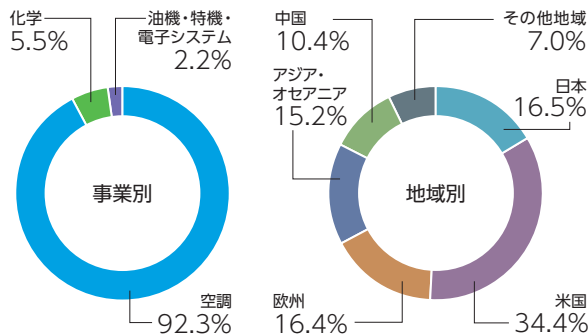
売上高 (連結)



従業員数 (就業人員数・連結)



売上構成比 (連結・2024年度)



## 事業内容

空調とフッ素化学の技術で、健康で快適な生活を提供

空調	化学	油機・特機・電子システム
環境性と快適性の両立を追求し、世界中のあらゆる空調ニーズに応える製品・サービスを提供し続けます。	フッ素化学の特長を生かし、幅広い分野に貢献します。	独自の油圧技術や精密加工技術、ITソリューションで幅広い産業に貢献します。
<b>主な事業分野</b> 住宅用空調、業務用空調、エアフィルタ、空気清浄、暖房・給湯、空調システム、冷凍冷蔵	<b>主な事業分野</b> 半導体、自動車、情報通信	<b>主な事業分野</b> 工作機械、在宅医療機器、ITソリューション

## 展開地域

世界170カ国以上で事業を展開

